

科目名		鍼灸理論 1							年度	2024
英語科目名		Acupuncture and Moxibustion Theory 1							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大関千佐子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】										
・鍼の基礎知識や刺鍼の術式、特殊鍼法を理解できる ・灸の基礎知識や灸術の種類、方法を理解できる ・施術上の有害事象を把握し、予防法や対処法を理解できる										
【科目の概要】										
鍼灸師に必要な用具や術式の基本的知識を学び、臨床上の注意点や安全対策の基本を身につけ実習の中で応用できるようにしていく。										
【到達目標】										
A. 鍼灸治療の特徴を理解し、鍼の基礎知識を身につけていく B. 刺鍼の方式や術式、特殊鍼法が理解できる C. 灸の基礎知識や灸術の種類を理解できる D. 施術上の安全対策について理解している E. 施術上の有害事象について認識し、予防法や対処法を理解できる										
【授業の注意点】										
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席とは認めない場合がある。課題は本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示がある場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標 A	鍼灸治療の特徴を理解し鍼の基礎知識が身についている。古代の鍼との関係が理解できる	鍼の基本的知識や古代の鍼との関係は理解できる	鍼の基本的知識は身につけている	教科書を見れば思いだが、覚えていない	使用する鍼や用具の基礎知識が身につけていない					
到達目標 B	刺鍼の方式や術式、刺鍼中の手技、特殊鍼法を理解し、基本的なことは実技で応用できる	刺鍼の方式や術式、刺鍼中の手技、特殊鍼法は理解している	刺鍼中の手技や術式刺鍼中の手技は理解している	実技で実践していることしか理解できない	刺鍼の方式や術式が理解できない					
到達目標 C	灸の基礎知識や灸術の種類や特徴を理解し、基本的な灸法は実技で応用できる	灸の基礎知識や灸術の種類や特徴は理解できている	灸の基礎知識や灸術の種類は理解できる	実技で実践していることしか理解できない	灸の基礎知識が身につけていない					
到達目標 D	施術上の安全対策や感染対策の基本を十分理解し、実践することができる	施術上の安全対策や感染対策を理解している	施術上の安全対策や感染対策が大切なのは認識している	施術上の安全対策や感染対策を理解していない	安全対策や感染対策は関係ないと考えている					
到達目標 E	鍼灸における主な有害事象とその予防法や対処法を十分理解し、実践応用することもできる	鍼灸における主な有害事象とその予防法や対処法を理解している	鍼灸における主な有害事象と予防法は認識している	鍼灸における有害事象は認識できるが、予防法や対処法はわからない	有害事象が理解できない					
【教科書】 東洋療法学校協会指定教科書「はりきゅう理論」										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験、授業内に行う小テストで評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		鍼灸理論 1			年度	2024
英語表記		Acupuncture and Moxibustion Theory 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	感染症対策	医療現場の感染症はどう行うのか？	1 手指衛生	手指消毒について理解している	3	
			2 施術野の消毒	施術野の消毒について理解している		
			3 施術器具の消毒・滅菌	施術器具の洗浄・消毒・滅菌について理解している		
2	鍼灸治療の特徴	古代から現代まで鍼灸療法はどのように発展してきたか？	1 鍼術・灸術の定義	鍼術・灸術の定義を理解している	3	
			2 経験療法	経験療法であることを理解している		
			3 古代思想の影響	古代思想の影響を受けていることを理解している		
3	鍼の基礎知識	用具の名称や特徴は？	1 毫鍼	毫鍼の名称や太さ・長さを理解している	3	
			2 鍼尖	鍼尖の種類や特徴を理解している		
			3 鍼管	鍼管の材質や形状を理解している		
4	鍼の基礎知識	古代九鍼とは？	1 破る鍼	破る鍼の特徴を理解している	3	
			2 刺入する鍼	刺入する鍼の特徴を理解している		
			3 刺入しない鍼	刺入しない鍼の特徴を理解している		
5	刺鍼の方式と術式	現在の刺鍼の方式や術式とは？	1 刺鍼の方式	刺鍼の方式について理解している	3	
			2 刺鍼の術式	前揉法と後揉法、押手と刺手について理解している		
			3 刺鍼の術式	切皮や刺入法について理解している		
6	刺鍼の方式と術式	刺鍼中の手技はどのようなものがあるか？	1 手技の種類	刺鍼中の手技の種類を理解している	3	
			2 手技の特徴	刺鍼中の手技の特徴を理解している		
			3 強度	刺鍼中の手技それぞれの強度について理解している		
7	特殊鍼法	特殊鍼法の種類や特徴は？	1 小児鍼、皮内鍼、円皮鍼	小児鍼、皮内鍼、円皮鍼について理解している	3	
			2 灸頭鍼、低周波鍼通電	灸頭鍼、低周波鍼通電について理解している		
			3 その他	その他の特殊鍼法について理解している		
8	灸術の基礎知識	モグサの成分や種類は？	1 モグサ	モグサの材料や成分について理解している	3	
			2 モグサ	モグサの種類について理解している		
			3 線香	線香の材料や特徴について理解している		
9	灸術の種類	有痕灸と無痕灸の種類は？	1 有痕灸	有痕灸の種類や特徴について理解している	3	
			2 無痕灸	無痕灸の種類や特徴について理解している		
			3 無痕灸	無痕灸の種類や特徴について理解している		
10	安全対策の基本	施術上の一般的注意事項とは？	1 関連用語	医療安全管理の関連用語の定義を理解している	3	
			2 感受性と刺激量	鍼灸施術における個体の感受性と刺激量を理解している		
			3 インフォームドコンセント	インフォームド・コンセントについて理解している		
11	鍼灸療法の適応症	鍼施術・灸施術禁忌とは？	1 禁忌症	禁忌症、適応症とは何か理解している	3	
			2 鍼施術の禁忌	鍼施術の禁忌の場合、禁忌の部位を理解している		
			3 灸施術の禁忌	灸施術の禁忌の場合、禁忌の部位を理解している		
12	リスク管理	鍼施術の有害事象と対処法とは？	1 副作用	主な副作用と対処法について理解している	3	
			2 副作用	主な副作用と対処法について理解している		
			3 主な有害事象	感染症や気胸の病態や対処法について理解している		
13	リスク管理	鍼施術の有害事象と対処法とは？	1 主な有害事象	臓器損傷や神経損傷について理解している	3	
			2 その他の有害事象	抜鍼困難の原因や対処法について理解している		
			3 その他の有害事象	折鍼の原因や対処法について理解している		
14	リスク管理	灸施術の有害事象と対処法とは？	1 副作用	灸あたりについて理解している	3	
			2 主な有害事象	熱傷の病態や予防法について理解している		
			3 主な有害事象	灸痕の化膿の予防や対処法について理解している		
15	テスト解説とまとめ	目指す鍼灸施術について考える	1 テスト解説	テストの見直しとともに復習できている	3	
			2 復習	全体的な復習と問題点が把握できる		
			3 鍼灸師	鍼灸師として大切なことが想像できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等